

インプラントの使用による乳房再建

シリコン製のインプラントを用いるのが一般的です。乳房切除症例で、大胸筋を温存していることが条件です。組織拡張器(tissue expander)の挿入、生理食塩水注入による組織の拡張、インプラントへの入れ替え、の3段階で行ないます。体の他の部位に傷を付けることなく、自家組織移植に比較して侵襲が少ないという利点があります。乳房の下垂がみられる場合には、左右対称性が得られないことがあります。